

登録番号	プロトコール名			
C16-38	胃癌ラムシルマブ療法			
診療科	腫瘍内科	1クールの日数	14日	
審査日	2015年7月27日	所要時間	95分	適応外使用 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	胃癌	放射線療法	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来、 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟、 <input type="checkbox"/> その他()			
適応分類	<input type="checkbox"/> 初発、 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発、 <input type="checkbox"/> 術後補助、 <input type="checkbox"/> 術前補助、 <input type="checkbox"/> その他()			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1、d8等)
1	ラムシルマブ(サイラムザ)・RAM	8mg/kg	div	d1
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6)			
ガイドライン文献名	Fuchs, C.S., et. al. Ramucirumab monotherapy for previously treated advanced gastric or gastro-oesophageal junction adenocarcinoma (REGARD): an international, randomised, multicentre, placebo-controlled, phase 3 trial. Lancet. 2014 Jan 4;383(9911):31-9.			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)				

プロトコールに関する解説	
<p>プロトコールに関する解説はありません。</p>	

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
胃癌ラムシルマブ療法		14日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
Day1	① 生食100mL レスタミン錠10mg 5錠内服 (①の点滴開始と同時に) ② サイラムザ 8mg/kg + 生食250mL 0.22 μmのフィルターを用いて投与する。 希釈後の濃度は0.4~4mg/mL。 調製後13時間以内に投与終了。 2回目以降は30分に短縮可能。 ③ 生食 50mL(フラッシュ用)	点滴 点滴 点滴	30分 60分 5分
プロトコール 適応時 表示コメント	PTX投与不適合例へ適応。 Rp.1の生食点滴開始と同時にレスタミン錠10mg 5錠内服。 サイラムザ: グレード3または4のinfusion reactionが現れた場合には本剤の投与を直ちに中止し、再投与しないこと。グレード1または2のinfusion reactionがあらわれた場合には、投与速度を50%減速し、その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与すること。		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄:)		